

子ども・若者の生活実態調査項目イメージ

- ① 家庭内の関わりを含め、子どもの成長段階に応じて、保護者と子どもをめぐる生活の状況・困難を把握する。(教育、健康、所得、相談先、将来など)
- ② 保護者や子どもが必要に応じて活用できる社会的資源(行政、学校等、地域における相談先、居場所、支援など)を把握する。
- ③ 保護者や子どもが必要とする社会的資源を利用しやすい状況にあるか、必要な支援を受けられているかを把握する。 →計画策定の基礎資料

① 家庭

保護者 (+他の家族)

- ・心身の健康
- ・学歴、学習状況
- ・仕事
- ・所得、暮らし向き
- ・過去の暮らし向き
- ・子どもへの希望・期待
- ・子育ての悩み・心配
- ・制度・サービスの利用状況

- ・関わり・つながり
(休日、食事、話)
 - ・教育・教育費
 - ・剥奪の経験
- ↔
- ・保護者心理の受容

子ども

- ・心身の健康
- ・基本的な生活習慣
- ・学習状況・環境
- ・将来の希望
- ・友人関係
- ・人とのつながり、居場所
- ・自己肯定感

+子ども(本人) 18歳以上

- ・原家族の生活状況
- ・社会生活
- ・仕事
- ・奨学金の返済
- ・見通し(次世代形成)

③ 社会資源へのアクセス

社会資源の提供

② 社会的資源

	<行政>	<学校等>	<地域>
相談先	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談 ・児童相談所ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生 ・SSW、SC 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な相談相手
人とのつながり 居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン ・児童会館ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だち ・ピア・サポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への参加 ・子ども食堂、フリースクール
支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護 ・就学援助 ・ひとり親家庭支援 ・児童養護施設ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育、進路指導 ・幼児教育・保育 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの見守り